下関市立大学　数理・データサイエンス・AI教育プログラム（データサイエンス学部）

目的

多様なデータを設計・分析・活用するために必要な理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題等を実践的に解決できる力を身につける。

身に付けられる能力

統計や関連する数理科学に関する知識と、それらを活用した分析の経験を通じて、データを収集・整理・分析し、そこから得られる知見を論理的に考察できる能力。

情報の管理や分析、人工知能などのアルゴリズムに関する知識を有し、様々な形式のデータを分析・活用し、適切に扱うことのできる能力。

実施体制

教学マネジメント会議（責任者：学長）

教学運営の重要事項を検討し、全学の教育に関する点検評価を行う組織。
数理・データサイエンス・AI教育プログラムの点検評価と改善を担う。

データサイエンス学部（責任者：学部長）

データサイエンス学部の教育について、学位プログラムの点検を行う。
数理・データサイエンス・AI教育プログラムの科目実施運営に責任を負う。

プログラムの科目構成

モデルカリキュラム	授業科目名
1-6.数学基礎	数学基礎（2単位）
1-7.アルゴリズム	アルゴリズム論（2単位）
2-2. データ表現	アルゴリズム論（2単位）
2-7. プログラミング基礎	DSプログラミング入門（2単位）
1-1. データ駆動型社会とデータサイエンス	データサイエンス入門（2単位）
1-2. 分析設計	データサイエンス入門演習（2単位）
2-1. ビッグデータとデータエンジニアリング	経営情報概論（2単位）
3-1. AIの歴史と応用分野	データサイエンス入門（2単位）
3-2. AIと社会	データサイエンス入門（2単位）
3-3. 機械学習の基礎と展望	人工知能概論（2単位）
3-4. 深層学習の基礎と展望	人工知能概論（2単位）
3-9. AIの構築と運用	情報と職業（2単位）

修了要件

上記プログラムを構成する8科目16単位をすべて修得すること。

公立大学法人 下関市立大学 Shimonoseki City University